

2026年(令和8年)  
2月1日日曜日  
特別号

# 京都自動車新聞



本紙はこのたび創刊  
2000号を迎えました。長  
きにわたるご愛顧に対し厚  
く御礼申し上げます。

発行所 京都自動車新聞社 京都市伏見区竹田向代町 51-5 (京都自動車会館内) 電話 (075) 672-0552 ファックス (075) 682-0205 メール access@kyotojidousha-np.jp

電話 (075) 672-0552 ファクス (075) 682-0205

ファクス (075) 682-0205

メール access@kyotojidosha-np.jp

<https://kyotojidosha-np.jp>



創業者の山田國藏

本紙の前身、交通時事新聞は1964（昭和39）年6月1日に産声をあげた。ブランケット版で構成され、発行所は京都市上京区浄福寺西にあった創業者、山田國藏の自宅。当時、京都府自動車整備振興会の副会長だった中川武治氏（相互満車輪）の後押しのもと、業界専門口一カル紙の創刊にこぎ着けた。その下準備にあたっては、京都府自家用自動車協会の松田道明氏や、國藏が徴兵時より知り合った陸運事務所長の小船氏からバックアップを受けたという。時代はモータリゼーション真っただ中。空前の大台と急速に増えつつあつたが、同時に交通事故が社会問題化し、新聞紙上では「交通地獄」さるに「交通戦争」と表現されるほどの深刻なありさま

たもの、地元繊維染色企業との交渉を経て現住所への移転に落ち着いた。

自象深いおまたの記憶

支局、会館と共に歩んできた歴史であることは言うまでもない。当然のことながら、京都府自動車販売店協会、京都府トラック協会、京都府自動車販売店協会、京都府中古自動車販売店協会、京都府自動車車体整備協同組合をはじめとする自動車関連団体とその傘下事業者連携には、本紙の歩みを

An aerial photograph showing a massive construction project, likely a new airport terminal or a large industrial building. The site is filled with a dense network of white foundation footings arranged in a grid pattern. Numerous construction vehicles, including several large cranes, are scattered across the site. In the background, a city skyline with various buildings is visible under a hazy sky.



①旧検査場の様子（65年ごろ）②現在の支局

その後も、各種規制緩和や自動車リサイクル法の施行、原油価格高騰、メンテナンスパックの発売、衝突軽減ブレーキの商品化とともに伴う前突事故の激減、高速道路休

て、京都府自動車会議が法人化された。前身の団体を統括する組織として、京都自動車会議所は、自動車取得税を導入しようとする府知事らへの徹底抗戦を契機に、業界内紛和を目的として立ち上がり、たとされる。社団法として認可された後は印紙売りさばき業務などを担つた。会館にせよ会議所にせよ、これらを「かうら築き上げた先人の一歩」たるや、いかばかりか。  
か。

初



(株) 京都自動車会館  
京都自動車健康保険組合  
京都自動車青年会議所  
京都府軽自動車協会  
京都府自動車車体整備協同組合  
京都府自動車整備商工組合

京都府自動車電装品整備商工組合  
京都府自動車部品商組合  
京都府タイヤ商工協同組合  
京都府中古自動車販売協会  
京都府トラック事業協同組合連合会

一般  
社団法人 京都府バス協会

一般  
社団法人 京都府レンタカー協会

全日本ロータス同友会京都府支部

一般  
財団法人 日本自動車査定協会京都府支所

一般  
社団法人 日本自動車連盟京都支部